

企画県土警察常任委員会資料

(平成24年5月21日)

[件名]

- 鳥取県警察航空隊格納庫等の整備及び航空機「さきゅう」の更新について 1
(生活安全部地域課)
- 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例(案)」の概要に関するパブリックコメントの実施について 2
(交通部交通規制課)

警 察 本 部

鳥取県警察航空隊格納庫等の整備及び航空機「さきゅう」の更新について

平成24年5月21日
 警 察 本 部
 (生活安全部地域課)

1 格納庫等の整備

(1) 経緯

旧事務所棟（昭和57年建築）の老朽化及び双発機導入に伴い旧格納庫（平成3年建築）が狭あいとなるため、平成24年3月13日、旧格納庫の東側隣接地に新築移転

(2) 施設の概要

- 事務所、格納庫（鉄骨造り平屋建て）
- エプロン地区（拡張）

(3) 場所

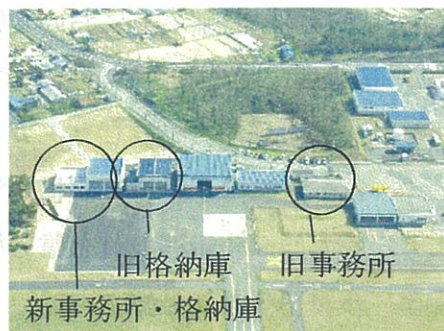
鳥取市湖山町北四丁目344番地2

(4) 総事業費

約2億4千3百万円

(5) その他



- 震度6強以上の耐震強度
- エプロン地区には応援機3機（中型機1機、小型機2機）の駐機が可能



【新事務所・格納庫】

2 警察用航空機の更新

現有機は、平成3年度に警察庁より配備されたが、減耗更新期となり、平成24年度中の国費更新が決定

区 分	導入機	現有機
外 観		
機 種	イタリア製アグスタ式109SP型	カナダ製ベル式206L-3型
最大離陸重量	3,175Kg	1,882Kg
最 高 速 度	時速311Km	時速240Km
エンジン出力	735馬力×2基（双発）	435馬力（単発）
最大搭乗者数	8人	7人

- 双発機の導入により、安全性が格段に向上するとともに、速度性能及び救助能力が向上
 - ・ 速度性能：鳥取空港－美保飛行場間を約20分（現有機は約30分）
 - ・ 救助能力：2人同時の吊り上げが可能（現有機は1人）
- 機体更新に伴い、操縦士、整備士の移行訓練を実施するほか、ヘリコプターテレビジョンシステムの更新を検討中（6月補正予算）
- 平成25年1月末に警察庁から受け取り、8月上旬から運用予定

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例
(案)」の概要に関するパブリックコメントの実施について

平成24年5月21日
警察本部
(交通部交通規制課)

1 パブリックコメントで意見を求める条例(案)の概要

バリアフリー整備事業において整備する信号機等の適合基準

(1) 信号機に関するもの(下記ア～ウのいずれかの機能を有するもの。又はエの信号機)

ア 音響信号機(ピヨピヨ・カッコー)

イ 高齢者、障がい者等が横断するのに必要な歩行者用信号機の青色表示秒数の確保

ウ 待ち時間表示機能付き信号機

エ 歩車分離式信号機

(2) 道路標識に関するもの

○ 反射材料を用いた道路標識又は夜間照明装置付きの道路標識

(3) 道路標示に関するもの(次のいずれかの方法によるもの)

○ 反射材料を用いた道路標示

○ エスコートゾーン(横断歩道上の点字ブロックのようなもの)

2 実施期間(予定)

平成24年5月28日(月)から同年6月26日(火)までの間(30日間)

3 意見募集の方法

(1) 県警ホームページに意見募集のページを掲載

(2) 新聞広告に掲載(応募期間の半ば頃に掲載予定)

(3) 警察本部、各警察署、運転免許センター、県民課(県庁)、各総合事務所県民局、県立図書館、各市町村の窓口に意見箱を設け、募集案内チラシとともに配置

4 意見等の応募方法

(1) 県警ホームページ、電子メール、郵送、ファクシミリ

(2) 上記3(3)の窓口に設置された意見箱への投かん

5 意見等の公表方法

応募のあった意見等の趣旨とそれに対する県警の考え方を県警のホームページ上で公表
(7月上旬頃を予定)

6 今後の予定

(1) 県民から寄せられた意見と関係団体からの意見聴取結果等を踏まえて条例案を策定

(2) 9月議会に提案

(3) 平成25年4月1日施行